



南葵音楽文庫ミニレクチャー

## 行進曲とスケルツォ ～プロコフィエフ再び

近藤秀樹

2018年6月16日(土) 11:00

南葵音楽文庫閲覧室(和歌山県立図書館内)

南葵音楽文庫  
和歌山県立図書館内  
和歌山市西高松 1-7-38  
tel. 073-436-9500



<https://www.rbth.com/arts/music/2016/04/23/sergei-prokofiev-the-composer-who-fled-the-ussr-for-the-us-and-back> 587181

### プロローグ: プロコフィエフの来日と離日

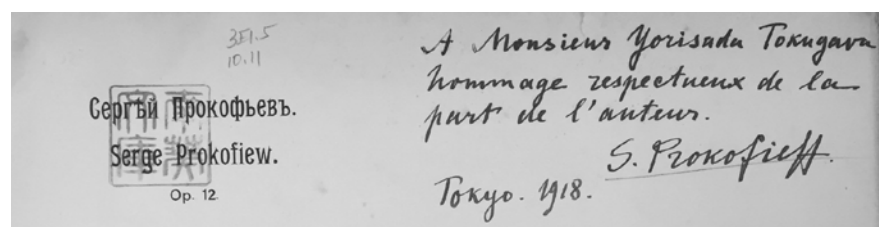
- ・ロシア革命(1917年)→活動の場を求めて国外へ→日本を経由してアメリカへ(1918年)
- ・プロコフィエフの日本滞在(1918年5月末～8月初)
  - 大田黒元雄との交流→東京(7月6,7日)・横浜(9日)でリサイタル
  - 徳川頼貞と会う(7月12日)
    - a. 頼貞はソナタの作曲を委嘱。結局書かれず。
    - b. プロコフィエフは自作のピアノ曲〈スケルツォ〉の楽譜を献呈。献辞あり。

□ 参考: 南葵音楽文庫定期講座 第1回(2018年1月21日(日))  
「徳川侯爵 マルキ・トクガワ 交遊録～大音楽家と会った日本人」

### 1. 行進曲とスケルツォ(1) ～ピアノのための《10の小品》作品12

#### 〈スケルツォ〉 Scherzo

- ・《10の小品》作品12(1906-13)の第10曲。表紙に作曲者の献辞。



- ・ 高度な演奏技術+モーター的運動性+アイロニーとユーモア  
→プロコフィエフの「名刺」？



- ・ スケルツォの名手プロコフィエフ ex. 《ヴァイオリン協奏曲》第1番第2楽章 (1916-17年)

### 〈行進曲〉 Marche

- ・ 《10の小品》第1曲。もうひとつの「名刺」(?)
- ・ アイロニーとユーモア。明とも暗とも割り切れない複雑な気分 (フモール)。道化的？



### 間奏曲 アメリカのプロコフィエフ

- ・ 1918年9月にニューヨークに到着。
- ・ 1918年11月20日にニューヨークでリサイタル。  
→このときスペイン出身の声楽家リナ・リューベラと  
出会い、のちに結婚。[左の写真]
- ・ 1919年1月、ニューヨークで山田耕筰と出会う。  
(山田耕筰「セルゲイ・プロコフィエフを想う」  
『山田耕筰著作全集』第2巻, p. 598)

[https://images-na.ssl-images-amazon.com/images/G/01/books/homif-ems/LinaSerge-3\\_V373846893\\_.jpg](https://images-na.ssl-images-amazon.com/images/G/01/books/homif-ems/LinaSerge-3_V373846893_.jpg)

## 2. 行進曲とスケルツォ(2) ～歌劇《3つのオレンジへの恋》

・管弦楽曲〈行進曲〉と〈スケルツォ〉：歌劇《3つのオレンジへの恋》からの抜粋。

・歌劇《3つのオレンジへの恋》 *L'amour des trois oranges*

原作は18世紀のイタリアの劇作家カルロ・ゴッツィ (Carlo Gozzi 1720-1806) の「御伽噺」。これをロシアの演出家メイエルホリド (Vsevolod Mejerchol'd 1874-1940) が脚色。コメディア・デラルテがベース。道化たちが次々に登場。非現実的な物語世界。歌詞はロシア語 or フランス語。



▲ ゴッツィ

### 物語

クラブ (♣) の国の王子がふさぎの病に。王は道化に命じて、王子を何とか笑わせようとするがうまくいかない。一方、王の姪クラリスは、腹黒い大臣レアンドルや、大臣の背後にいる魔女ファタ・モルガーナと組んで、王位継承権を奪おうとする。ところがその魔女が転んだのを見て、王子は思わず大笑い。怒った魔女は王子に呪いをかける。「三つのオレンジに恋をせよ！」かくして王子は、道化とともに、三つのオレンジ (実はその中にはお姫様が一人ずつ隠れている) を探す旅に出るのだが……。

・作曲の経緯

日本行きの船の中でメイエルホリドの台本を読んで作曲を決意。

渡米後、シカゴ・オペラ協会の指揮者カンパニーニ (Cleofonte Campanini 1860-1919) の注文で作曲 (1919年)。

紆余曲折 (カンパニーニ急逝、上演延期 etc.) の末、1921年によりやくシカゴで初演。



▲ 1971年の歌劇上演の一齣

[https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/7/7e/25.02.1971.\\_%22L%27amour\\_des\\_trois\\_oranges%22.\\_%281971%29\\_-\\_53Fi4137\\_%28cropped%29.jpg](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/7/7e/25.02.1971._%22L%27amour_des_trois_oranges%22._%281971%29_-_53Fi4137_%28cropped%29.jpg)

行進曲: 第2幕第1場。

王子を笑わせるために催されたお祭りに、宮廷の人々が集まってくる。



\*アメリカのラジオドラマ *The F.B.I. in Peace and War* (1944-1958) のテーマ曲として使われ、〈F.B.I.のテーマ〉とも呼ばれる。

\*名ヴァイオリニストのハイフェッツがヴァイオリンとピアノのために編曲した。

スケルツォ: 第3幕第1場

王子と道化トルファルディーノは、王の味方の魔術師チェリオに助言してもらい、3つのオレンジを求めて、恐ろしい魔女クレオントの城に向かうことに。

---

## エピローグ その後のプロコフィエフ

### ・頼貞との再会

1921年春、頼貞は、パリのシャンゼリゼ劇場で、ロシアバレエ団の公演を観劇。そこで偶然プロコフィエフと再会。ストラヴィンスキーを紹介される。

(徳川頼貞『薈庭樂話』 p. 122)

1921年5月、ロシアバレエ団はプロコフィエフのバレエ《道化師》をパリで初演。

1921年12月、シカゴで《ピアノ協奏曲》第3番(1921)を初演。

\*第3楽章の Rond主题が「越後獅子」に似ている？

### ・アメリカからヨーロッパへ

1922年3月にパリで母親と再会。南ドイツの山岳地帯に居を移す。

1923年にリナ・リューベラと結婚。活動の拠点をパリに移す。

1923年9月、頼貞と大田黒元雄に手紙を出す。(←関東大震災)